

専攻科漁業生産科2年生、授業の様子(レーダ、^{エグデイス}ECDIS)

専攻科漁業生産科2年生が、安全に航海するために必要なレーダや^{エグデイス}ECDIS(電子海図情報表示装置)を使用して授業を行っている様子です。

専攻科1年の時に、実習船「湘南丸」で沿岸航海や遠洋航海を経験しており、その時にレーダやECDISといった航海計器を実際に扱っています。操船シミュレーターを使用して授業を行うときには、レーダやECDISといった航海計器を^{れんどう}連動させ、航海の練習を行います。

レーダを使用して授業をしている様子



ECDIS を使用して授業をしている様子



☆専攻科とは

船舶運航科(S科)において航海や機関に関する基礎(高校2年生のときに航海系、機関系のどちらに分かれます)を3年間学んだあとに、更に2年間専門科目について学ぶ科です。ほとんどの生徒が専攻科修了後、船員として海運・水産業界に就職しています。

航海系列の専攻科を漁業生産科、機関系列の専攻科を水産工学科、情報通信系列の専攻科を情報通信科といいます。漁業生産科1年、水産工学科1年は実習船「湘南丸」に乗船して、約1年間にわたり遠洋航海や沿岸航海、ドック実習などの実習を行い、船員になる基礎を実習で学びます。

専攻科2年生は、学校において座学中心となり、漁業生産科の生徒は航海士、水産工学科の生徒は機関士になるために必要な3級海技士という免許の取得を目指して日々勉強に励みます。近年は2級海技士筆記合格、1級海技士筆記合格、または科目合格をしている生徒もいます。専攻科2年生では、瀬戸内海や^{しおのみさき}潮岬、^{みこもじま}神子元島など日本沿岸において重要な航路を航行する沿岸航海が1回あります。